

## たけびし (コード 7510・大証 2 部 [100 株])

業績推移(連結) (予想数値は会社発表分。配当性向は連結ベース。単位・百万円、%、円)

決算期	売上高		経常		一株当たり		配当性向	売上高 経常利益率
		伸び率	利益	伸び率	純利益	配当		
07.3	68,455	+9.1	2,025	+31.9	80.7	13.0	16.1	3.0
08.3	70,168	+2.5	2,084	+2.9	78.8	14.0	17.8	3.0
09.3(予)	71,000	+1.2	2,090	+0.3	77.7	16.0	20.6	2.9

### 幅広い産業分野と大手優良企業中心のユーザー構成が強み

**特色**...京都・滋賀を主力地盤(08年3月期の同地区の売上構成比率45.1%)に、産業用電機・電子機器などを幅広く取り扱う、三菱電機の総合代理店。単に製品を提供するだけでなく、技術ノウハウ、システムデザイン、ソフト開発を手がける“技術商社”を志向。電気機器をはじめ、精密、機械、輸送、建設、電力、公共、商社など、幅広い産業分野にわたる展開力と、特色ある大手優良企業を中心とするユーザー構成は同社の強み。

### 08年3月期は過去最高業績に

**5期連続増収増益に**...08年3月期の連結業績は、新規需要開拓の進展や病院向け電子医療装置、製造装置向け駆動制御が業績拡大に貢献。売上高は07年3月期比2.5%増、経常利益が同2.9%増となり、5期連続の増収増益、過去最高業績となった。事業別売上では、社会・情報通信事業が222億4,000万円(07年3月期比8.1%増)に拡大したものの、FA・デバイス事業は479億2,700万円(同0.1%増)にとどまった。社会・情報通信事業のうち、携帯電話販売店のスクラップ&ビルドを進めたことなどで情報通信部門は105億8,000万円(同3%減)に縮小したものの、病院向け設備需要の寄与で社会インフラ部門が116億6,000万円(同20.7%増)に伸びた。一方、FA・デバイス事業では、新規需要開拓などの効果や一部の電子機器製造装置向け需要の拡大から産業機器システム部門が277億5,100万円(同2.6%増)に拡大したものの、駅務関連向け需要の一巡などから半導体・デバイス部門は201億7,600万円(同3.1%減)に落ち込んだ。

### 09年3月期業績はほぼ横ばい見込み

**厳しい市況で横ばい予想**...09年3月期の連結業績予想について、会社側では、半導体・液晶関連の製造設備や工場設備投資の需要動向など、市況が前期当初の予想よりも一層厳しくなるとみており、売上高が08年3月期比1.2%増、経常利益は同0.3%増と、ほぼ横ばいの見通し。事業別の売上予想は、FA・デバイス事業:494億1,000万円(08年3月期比3.1%増)、社会・情報通信事業:215億9,000万円(同2.9%減)。FA・デバイス事業のうち、加工機などの回復で産業機器システム部門が289億5,000万円(同4.3%増)に、エンベデッド機器・液晶モジュールなどデバイスの貢献で半導体・デバイス部門が204億6,000万円(同1.4%増)に拡大する見込み。一方、社会・情報通信事業では、冷熱、ビル設備の横ばいなどで社会インフラ部門が116億7,000万円(同0.1%増)、携帯電話の需要減などから情報通信部門は99億2,000万円(同6.2%減)となりそう。なお、年間配当は前期実績から2円増配し16円とする予定。

本レポートは、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。